

## 令和2年度 入学行事のご挨拶

桜の花も咲き誇り、春爛漫の今日の良き日に、新入生の保護者の皆様のご臨席のもと、令和2年度兵庫県立社高等学校入学行事を執り行うことができますことは、私どもにとってこの上ない喜びであり誠に嬉しく存じます。本校を代表し深く感謝申し上げます。

先ほど入学許可をされた第七十五回生二百四十名の皆さん。ご入学おめでとうございます。職員一同、心より歓迎いたします。

そして保護者の皆様、お子様のご入学誠におめでとうございます。これまでお子様を育ててこられました皆様のご尽力に心より敬意を表しますとともに、私たち教職員に課せられた責任の重さに身の引き締まる思いでございます。どうか本校の教育活動にご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響がまだ続く中、人生の転機ともいえる中学校3年生での締めくくりの時期に臨時休校となり、不安の中、入試を迎えるなど大変な時期を過ごしてこられた皆さんにとってこの入学行事は心に大きく刻まれることなのでしょう。当たり前の学校生活が送れなくなったとき、仲間の大切さや学校生活を送れることのありがたさを感じた人も多かったと思います。だからこそ、同じ時を過ごせることに感謝し、その時間を大切に、仲間を大切に作る気持ちは強くなったはずです。私たち職員も皆さんと同じように学校のあり方や過ごし方、安全安心について考える時間を持ち、より一層皆さん一人一人を伸ばしていくために必要なことを今までの違った角度から考えることができました。私たち職員は皆さんと共に社高校をよりよく作り上げていくため、まだしばらく続く臨時休業が明けた学校再開後には新型コロナウイルスによる影響を感じさせない学校作りに邁進していく所存です。

また、社高校で高校生としての一步を踏み出す皆さんには、地域の皆さんも大きな期待を寄せておられます。まず、生活科学科では、地元食材を活かした商品開発や保育園、こども園や小中学校との連携による食育、地元イベントの活性化や販売実習などを通しての地域貢献を果たしています。体育科では全国大会出場をはじめとする部活動の活性化により地域を元気づけたり、小高連携や世代間交流により地域と活発な交流をしたりしています。普通科では看護医療類型の生徒が医療への関心を深め、将来的に地域貢献を果たせるよう学習を進めています。これらのことから地域の皆様の本校への関心の高まりと共に地域活性の担い手としての期待感は年々強くなってきています。

皆さんはそのような地域の期待に応えるために、また自らの思い、夢の達成をするためにどのように高校生活を送ろうと考えていますか。何事も最初が肝心です。幕末の教育者であった吉田松陰は次のように言っています。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に夢なき者に成功なし」と。社高校は「夢を形に」というスローガンを掲げ、先生方も生徒一人一人の力を見極め、向き合い、力を伸ばすことを考え皆さんに接していきます。しかしながら、当事者である皆さんが、思いや夢を持っていなければ、うまく行かないことの方が多くなるかも知れません。野球の二刀流を目指して大リーグで活躍する大谷選手は高校1年生の時に細かな目標設定をし、自らの目標を達成すべく努力したと聞いています。その目標達成シートは大きな目標を立て、その目標を達成する要素を考え、さらにそれを細分化して身近な行動としてできるように設定されていました。その中には運を身につけるためのゴミを拾う等の誰でもできる行動も記されています。ゴミをゴミと思わず運を拾っているという気持ちでやればゴミを拾うたびに運がついてくることになります。考え方ではありますが、自分の中

で理屈づけをしっかりと日々の取組を考えるきっかけを自らが作って行動に移しているそうです。自分にできる事をコツコツと続けることが将来の自分を作り上げていくとすれば、まさに今の皆さんは高校入学を機に目標をしっかりと立て、その目標を達成するためにできる事、やることを考え実践していくこと、そしてその行動を起こしていくことが大切になってきます。夢を形にしていくことにもつながりますので、自ら考え自ら行動を起こしていきましょう。失敗を恐れていてはできる事もできなくなります。失敗を恐れず、一歩踏み出す勇気を持って高校生活を送ってください。間違った方向に行きそうなときは私たちが一緒に考え、保護者の皆さんと共に皆さんにアドバイスを送ります。そこで踏みとどまって考えることができれば大丈夫です。

皆さんが高校三年生になるときは成人年齢が引き下げられ十八歳成人となります。誕生日と共に責任感が重くなり、自らの決断が人生を大きく左右する年齢となります。保護者の理解のもと、自ら決断し、行動できる年齢となることを自覚し、考える習慣を身につけ、そのためにしっかりとした準備をしていくことを心がけて責任感を養ってください。迷ったり悩んだりしたとき、どうしてもうまくいかないときは相談に来てください。上級生も、私たち職員も親身になって皆さんを支えていきます。

最後に職員一同、皆さん一人一人の成長を真剣に考え、高校生活を充実したものにできるようサポートしていきます。そのことを保護者の皆様にもお約束し、皆さんの今後の頑張りと活躍に期待しまして入学行事に当たってのご挨拶とさせていただきます。

令和2年4月8日

兵庫県立社高等学校

校長 若浦直樹